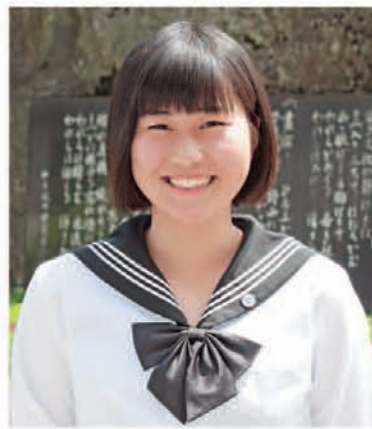
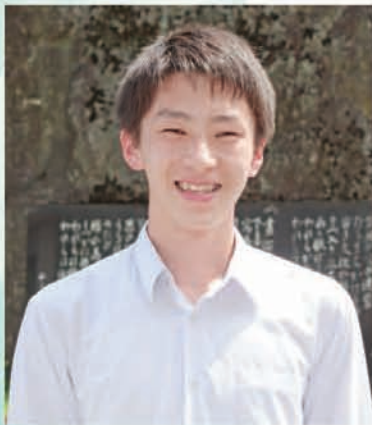
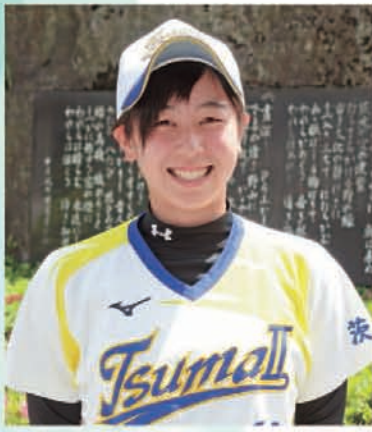


笑・顔・は・じ・け・る さわやか妻二

2020 学校案内

SHIMOTSUMA 2ND HIGH SCHOOL



茨城県立下妻第二高等学校

笑顔はじける さわやか妻二プロジェクト

校長挨拶



下妻第二高等学校は、今年創立110年目を迎える歴史ある学校です。女子高としてスタートしましたが、時代の要請に応じ四半世紀前に男女共学になりました。

本校は、「文武二道」の方針のもと、勉学と部活動との両立を図りながら、学力の向上とたくましい心身の発達を促し、「生きる力」を身につけた人材を育成する学校です。「自主・慈愛・責任」の校訓のもと、グローバル社会に対応した国際理解教育の推進や地域に貢献できる人づくりなど、社会に有用な人材の育成を目指し、これまでに多数の卒業生たちが各分野で活躍しております。

学校の雰囲気は非常に活気に満ちており、真剣な眼差しで臨む授業、放課後の活気溢れる部活動、生徒主体の充実した学校行事など、まさに本校のキャッチフレーズどおり毎日が“笑顔はじける

さわやか妻二”そのものです。

皆さんもぜひ本校の一員となり、さまざまなことにチャレンジし、充実した高校生活を送りましょう。

学校長 **山中 孝男**



組織目標 (目指す学校像)

文武二道を目指して、知・徳・体のバランスの整った人材を育成する。
国際理解教育を推進し、グローバル化に対応できる現代的な視野を育むと同時に、地域に根ざした人間性豊かなたくましい人材を養成する。



妻二とは

本校は、光明寺住職三浦空成師により、明治36年(1903年)私塾「女子文芸会」として開設され、明治42年(1909年)に私立「女子綱文学校」に改組されました。その後、幾度かの改組を重ね、昭和24年(1949年)茨城県立下妻第二高等学校となりました。平成5年(1993年)に男女共学推進指定校となり、110年の歴史を重ねています。

本校は、古き良き伝統の上に男女共学校としての新たな伝統を確立しつつあります。近年、大学進学実績が飛躍的に伸び、また同時に部活動にも7割を超える生徒が加入して、関東・全国大会への出場等、おきな成果をあげています。また、オーストラリア語学研修(希望者)など、国際理解教育に力を注いでいます。課外授業やサテライト教室の充実、スクールバスの運行など、学習環境も整っています。

本校は、部活動で心と体を鍛え、感性を磨き、学習活動で新たな自分を発見できる、皆さんひとりひとりの自己実現を可能にする学校です。文武二道を目指す意欲的な「君」を待っています。

妻二生の1日

下妻二高生の
とある1日を追いかけてみましょう。

登校 ~ 8:40

8:40までに登校。関東鉄道常総線下妻駅が最寄り。
駅から近くて便利。
希望者にはスクールバス7コースも運行しています。

SHR 8:40~8:45

出席の確認と連絡事項。1時限目の授業準備もします。

授業開始 8:50~

授業時間は50分、休み時間は10分です。わからないことは先生に積極的に質問しよう！

昼休み 12:40~13:20

昼食は各自持参ですが、購買部でパンなどを買うこともできます。

5時限 13:25~

午後の授業開始。眠くならないようにしましょう！

6時限終了 15:15

水曜日は15:25~7時限 LHRがあります。他の日は15:30頃まで清掃をし、その後SHRで終了です。

放課後

部活動にいそしむ人、課外授業を受ける人、先生に質問しに行く人、図書室や学習室で勉強する人…
放課後の過ごし方はそれぞれ。



皆に共通しているのは目標に向かって努力するところです。